

(様式3)

事業所名 グループホームあい愛塩尻

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年12月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 60	[日常的な外出支援] コロナ禍において様々な制限があったが、「利用者様が、行きたいところに出かけている」項目が利用者の1/3位の支援に留まっている。	屋外の空気や景色に触れ、心身の安定や生活意欲の向上を図ることができる	①日常的な日々の気分転換や季節を感じる。 ②家族の協力も得て、外出支援をしていく。	12ヶ月
2	35	[災害対策] 災害時における地域との協力体制を組み込んだマニュアルが作られていない。また、地域との合同防災訓練の必要性を感じているが実施に至っていない。	地域と連携した防災マニュアルの作成と合同訓練の実施	①消防署や地区消防団、地区役員等との連携を図り、地域の方々にも参画・協力を盛り込んだ防災マニュアルを作成する。 ②マニュアルに添って、合同防災訓練を実施する。	12ヶ月
3	4 65	[運営推進会議を活かした取り組み] 外部評価の結果について、運営推進会議を活用した取り組みが必要	運営推進会議にて外部評価の結果を共有し、協働を図る	①評価結果を入居者及び家族に交付 もしくは送付し、評価を公表する機会を作る ②意見交換を通して委員も参画してのサービスの向上に努める	12ヶ月
4	6	[身体拘束をしないケアの実践] 離設事故がないように、職員は試行錯誤しながら対応に苦慮している。	玄関の施錠を含めて、身体拘束をしないケアに取り組む	①職員が連携を図り、入居者の安全な生活環境に配慮していく。 ②見守り強化のための環境整備 ③職員会議、主任会議、身体拘束廃止・介護技術委員会を通して、介護保険法に遵守したケアの実施を確認・点検していく。	12ヶ月
5					ヶ月